

参加資格確認書の記入について

～太線枠内に全て正確に記入してください～

- 競技名、種目・階級等…… 正確に記入してください。監督は必要ありません。
例：レスリング → グレコローマンスタイル 60kg 級（G60kg 級でも可）
- 氏名、生年月日、性別…… 中央競技団体等で登録されている氏名を正確に記入してください。
例：タカハシの『高』『高』、サイトウの『斉』『斎』『齊』『齋』等
- 学校名又は所属クラブ名… <少年選手用>
勤務先又は所属先…………… <監督・成年選手用>
種別に関わらず所属名は誤りが無いよう必ず正式名称で記入してください。
なお、プログラムと報道掲載時で標記が異なる場合があります。

～監督（選手兼監督含む）のみ～

- 指導者資格名 …………… 日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格名を記入してください。
○指導者資格登録番号 …… 9 桁の数字を記入してください。
○その他 …………… 監督登録に必要な審判等の資格がある場合は必ず記入してください。

1. 所属区分について、該当する項目に☑し、市町村名を記入してください。
競技団体の指示に従い、該当する項目に☑し、市町村名等を記載してください。
基本的には、成年選手は“ア”、少年選手は“イ”に☑をし、市町村を記載してください。
2. 過去2年間における予選会・東北総スポ・国スポの出場履歴について記入してください
○参加状況…………… 県予選会（県民スポーツ大会等の競技団体が定める選考会）・東北総スポ・国スポ
に出場した場合には「出場した」に☑してください。
※過去2大会において予備登録選手であった場合も『出場した』になります。
- 所属都道府県名…… 他の都道府県に在籍・居住していた場合は十分注意してください。
- 注意：通常、予選会・東北総スポ・国スポへの出場履歴については過去2大会で他の都道府県からの参加歴がある場合は、県を変えて出場することができません。特例措置等の制度を使用する場合のみ参加可能となります。

3. 特例措置等を使用する場合に記入してください

過去2年間のうち、直近大会で他の都道府県選手団として出場していた場合、以下の特例措置制度を使用しなければ、本県選手団として出場することができません。

- 成年選手……『新卒業者』、『結婚・離婚』、『ふるさと』、『震災特例』
少年選手……『新卒業者』、『結婚・離婚』、『一家転住』、『JOC アカデミー』、『震災特例』

- ☐ 誤情報の原因となりますので、参加申込担当者代筆は控えてください
☐ 国籍や特例措置等、不明な点があった際は県スポ協へ確認するなど、スムーズな手続きに努めてください
☐ 特に少年種別の「所属区分」は可能な限り統一してください